

「ものづくり日本大賞」 祝！内閣総理大臣賞



平成 30 年 1 月 22 日、首相官邸にて第 7 回「ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞の表彰式・祝賀会が行われ、本校情報工学科 5 年生 5 名が表彰されました。
 「ものづくり日本大賞」は製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。本賞は経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成 17 年より隔年開催しており、今回で 7 回目を迎えます。このたび、関係 4 省において、24 件 71 名の内閣総理大臣受賞を決定いたしました。
 本校学生が参加した「全国高等専門学校第 27 回プログラミングコンテスト（課題部門）」において最も優れた作品に贈られる文部科学大臣賞を受賞したことが評価され、今回の受賞となりました。

■受賞者

(東京工業高等専門学校 情報工学科 5 年在籍)

- ・富平 准喜 (とみひら としき)
- ・吉川 千里 (よしかわ せんり)
- ・瀧島 和則 (たきしま かずのり)
- ・小牧 瑛一 (こまき えいいち)
- ・丸 龍之介 (まる りゅうのすけ)

※指導教員 情報工学科 教授 松林勝志
 情報工学科准教授 山下晃弘



安倍首相から表彰状を授与



安倍首相に作品を説明

■参考

全国高等専門学校第 27 回プログラミングコンテスト鳥羽大会 (2016)

平成 28 年 10 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日) 伊勢市観光文化会館

課題部門「スポーツで切り拓く明るい社会」をテーマにした作品

課題名「リアルタイムに選手とシンクロするスポーツ観戦システム」文部科学大臣賞受賞

本作品は、リアルタイムにアスリートとシンクロすることができる全く新しいスポーツ観戦システムを開発したものです。
 選手目線の 360 度映像、VR (バーチャルリアリティ) 及びモーションシミュレータを使用して、スポーツ現場の臨場感あふれる体験を実現することで、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、新たなスポーツ観戦スタイルを提案している。

※第 7 回ものづくり日本大賞については文部科学省ホームページに掲載されています。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/01/1400349.htm

平成 30 年 1 月 25 日 東京工業高等専門学校総務課